

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 松本 紘 ・住所 川崎市中原区3丁目245番地	評価者	障害計画課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

### 2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 26名（平成23年3月31日現在）、延利用日数 5,749日																													
収支実績	収入	支出	収支差額																											
	<table border="0"> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>142,774,633円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>131,019,823円</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">8,543,860円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>90,549,820円</td> <td>人件費</td> <td>79,591,653円</td> </tr> <tr> <td>経常経費補助金</td> <td>49,577,058円</td> <td>事務費</td> <td>19,134,479円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,647,755円</td> <td>事業費</td> <td>7,701,045円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>142,774,633円</td> <td>経理区分間繰入金</td> <td>24,592,646円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施設整備等</td> <td>3,210,950円</td> </tr> </table>	福祉事業活動	142,774,633円	福祉事業活動	131,019,823円	8,543,860円	自立支援費等	90,549,820円	人件費	79,591,653円	経常経費補助金	49,577,058円	事務費	19,134,479円	その他	2,647,755円	事業費	7,701,045円	合計	142,774,633円	経理区分間繰入金	24,592,646円			施設整備等	3,210,950円	<table border="0"> <tr> <td>合計</td> <td>134,230,773円</td> <td>※指定管理料</td> <td>47,887,000円</td> </tr> </table>	合計	134,230,773円	※指定管理料
福祉事業活動	142,774,633円	福祉事業活動	131,019,823円	8,543,860円																										
自立支援費等	90,549,820円	人件費	79,591,653円																											
経常経費補助金	49,577,058円	事務費	19,134,479円																											
その他	2,647,755円	事業費	7,701,045円																											
合計	142,774,633円	経理区分間繰入金	24,592,646円																											
		施設整備等	3,210,950円																											
合計	134,230,773円	※指定管理料	47,887,000円																											
サービス向上の取組	・重度の障害を持つ利用者に対して、一人ひとりの身体状況と個別ニーズを考慮したサービスの提供が行われており、利用者及び家族と連携を密に取ることによって、安定した利用率を維持している。																													

### 3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・重度重複障害のある利用者が多く、ニーズも多様化しているが、スヌーズレンを始めとした20種類以上の充実したプログラムを用意し、利用者の意向、状況に沿った工夫のある支援を行っている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・良質なサービスの提供によって、給付費の収入を得ており、経営状態は安定している。 ・予算に沿った支出がなされており、執行状況及び財産状況について、適正に処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・医療的ケアや配慮が必要な利用者が多いため、健康管理・衛生管理・栄養管理については十分に配慮しながら、日中活動の支援、入浴サービスの提供を行った。その結果、年度末に行ったサービスに関するアンケートでも、多くの方から「満足している」との回答を得ている。 ・利用者・家族からの要望等については、毎月の利用者会・家族会、日常の連絡帳、個別面談などを通じて確認し、その都度支援を行った。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・災害の訓練を年3回実施し、今年3月の東日本大震災の経験から、非常時の対応について見直しを行った。</li> <li>・適切な安全管理のため、介護方法の見直しや技術研修の実施により、支援方法の改善に努め、また、パソコンの増設等によって、データ管理や事務の効率化を図っている。</li> <li>・人員の配置については適切であり、加齢と重度化に伴う医療ケア等のために看護師2名を配置し、迅速な対応を行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内美化と地域交流のため、地域住民と一緒に花壇づくりを行っている。</li> <li>・各種保守、点検等についても適切に行われている。</li> </ul>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E,標準.:C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・重度重複障害の利用者が多く中で、障害特性や個別のニーズを考慮した支援とプログラムを実施し、その内容や方法等について、利用者・家族と連携しながら取り組まれ、好評を得ていることは大変評価できる。  
・地域との交流のため、施設周辺の花壇の手入れや「かじがや祭り」などの行事、「かじがや通信」の発行等、地域交流の推進を図っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・引き続き、利用者及び家族との良好な関係を維持し、障害特性等に配慮した利用者主体の良質なサービスの提供に努めていくこと。  
・平成23年度中に第三者評価を受審予定とのことで、新たな課題の確認とサービスの質の向上が望まれる。